

武器なき斗い (1960)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 137分

初公開日 1960/11/08

【解説】

西口克己の小説『山宣』を、山形雄策と依田義賢が脚色し、山本薩夫が監督した。治安維持法改正に反対した実在の政治家、山宣こと山本宣治の生涯を描く。

大正時代、生物学者の山本宣治は同志社大学で性教育の講義を行っていた。しかし政府が自由主義的な学生や労働者を取り締め始め、宣治は大学を追放されてしまう。労働党の運動に加わった宣治は、両親や妻たちの理解を得て、政治の世界を目指すことに。昭和3年、労働党から普通選挙に出馬した宣治は、妨害や弾圧をはねのけ代議士に当選した。治安維持法をさらに改悪しようとする政府に対し、宣治は衆議院にて反対討論を行おうとするが、その前日、右翼団体の構成員に刺殺されてしまう。

【クレジット】

監督 山本薩夫

製作 角正太郎

伊藤武郎

原作 西口克己

脚本 山形雄策

依田義賢

撮影 前田実

美術 久保一雄

音楽 林光

録音 安恵重遠

出演 下元勉 山本宣治

渡辺美佐子 山本千代

東野英治郎 山本亀松

小沢昭一 農民

細川ちか子 山本多年

宇野重吉 地下黨員